

高齢者福祉住宅（コーポ烏森）の一部用途変更について
（議案第2号補足資料）

1 高齢者福祉住宅（コーポ烏森）の状況

高齢者福祉住宅は、住宅に困窮する高齢者に対して住宅を提供することにより、その生活の安定と福祉の増進を図る目的で設置している。平成31年2月1日現在239戸あり、231世帯が入居している。年に1回空き室待ち登録者の募集を行っているため、継続的な空き室は発生しない。

高齢者福祉住宅コーポ烏森は、平成8年4月1日に借上公営住宅として管理を開始し、単身世帯18戸に生活協力員室・管理室・だんらん室を備えた施設である。

2 一部用途変更について

区では、平成21年度より新規高齢者福祉住宅や生活協力員の退任した住宅に対し、高齢者処遇について専門性を有する職員である「LSA（ライフサポートアドバイザー）」を派遣している。LSAは、居住している高齢者に対し、必要に応じて①生活指導・相談、②安否の確認、③一時的な家事援助・緊急時対応等の福祉サービスの提供を行っている。

平成30年10月末でコーポ烏森の生活協力員が退任したことに伴い、平成30年12月1日よりLSAによる管理に変更した。このため、空き室となった生活協力員室をリフォームし、高齢者福祉住宅（世帯用）として一部用途変更する。

（参考）住宅の用途と戸数の内訳

名称	用途	間取り	変更前 戸数	変更後 戸数	増減
コーポ烏森	高齢者福祉住宅	1K	18	18	0
		2K	0	1	+1

3 今後の予定

平成31年4月 コーポ烏森の1室を高齢者福祉住宅（世帯用）として供用開始

以 上